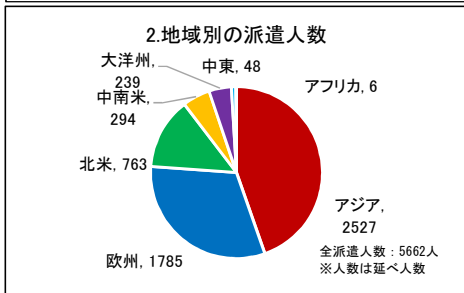
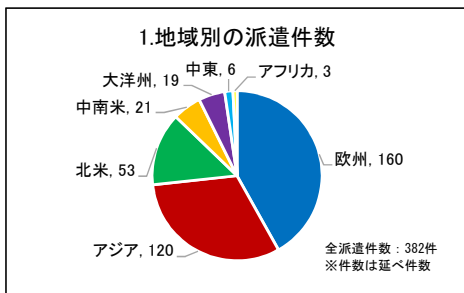


# 平成28年度国際交流状況等調査結果概要 -スポーツ国際交流及び国際会議等への派遣・受入状況-

スポーツ国際交流のために行った派遣（統括団体事業を含む。）

2016年4月から2017年3月の間に、海外で行われた国際交流等へ派遣した日本の選手・スタッフ（競技団体役員・監督・コーチ・ドクター等）、審判及びクラシファイア（障がいによる不公平が生じないように、規則に従ってそれぞれの競技者を適切にグループ分けする資格を有する者）の人数を調査した。対象期間は2016年4月1日から2017年3月31日までとし、地域は外務省ホームページの区分に基づき色別に分類した。

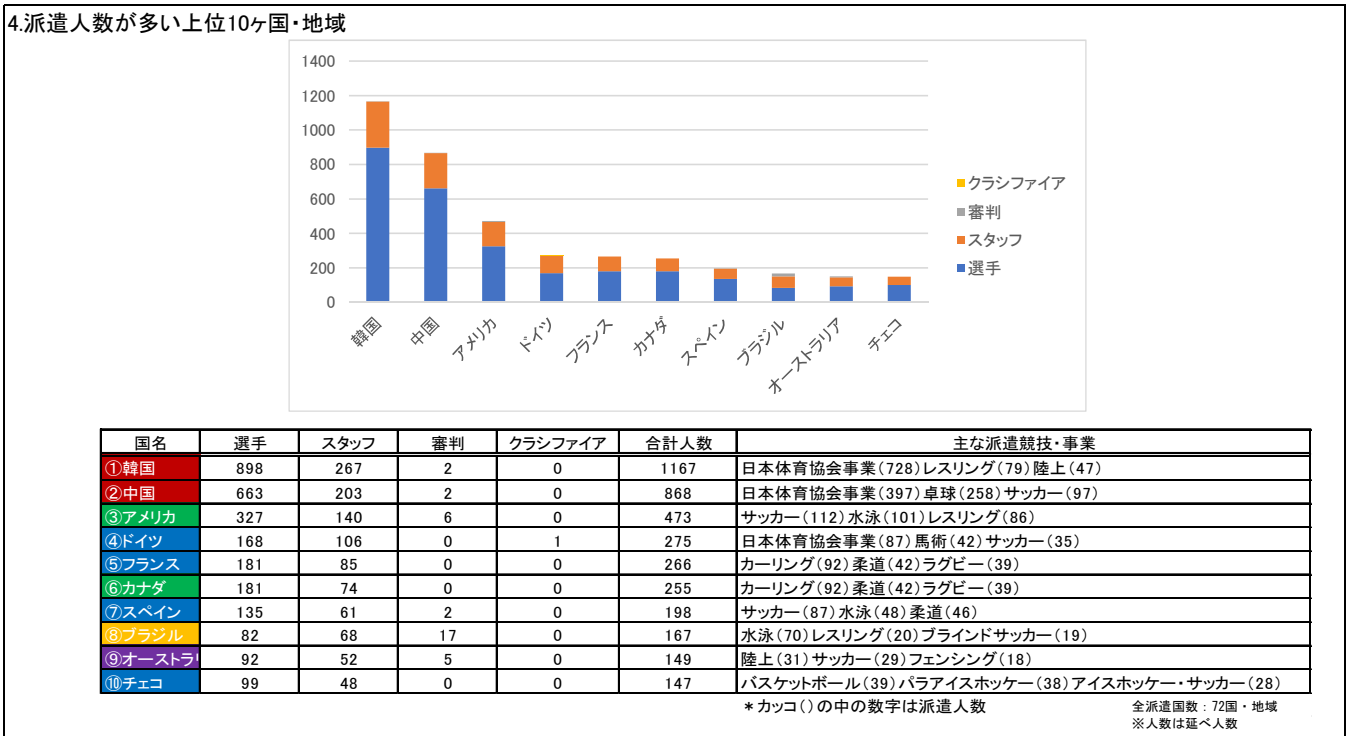
- 交流とは、以下のものを指す。
  - スポーツを通じた諸外国との交流
  - 海外強化合宿（遠征等）
  - 諸外国との国際親善・交流試合、強化試合、合同合宿等
  - 指導者・審判員等に対する技術講習、研修
  - 指導者の派遣 等



3.派遣人数が多い競技(上位10競技)別の国・地域(上位3ヶ国・地域)

派遣競技・事業	合計人数	1	2	3
①日本体育協会事業	1212	韓国(728)	中国(397)	ドイツ(87)
②サッカー	890	アメリカ(112)	中国(97)	スペイン(87)
③レスリング	344	アメリカ(86)	韓国(79)	ロシア(28)
④水泳	336	アメリカ(101)	ブラジル(70)	スペイン(48)
⑤ラグビー	327	フィジー(52)	ジョージア(49)	カナダ(39)
⑥卓球	258	中国(258)		
⑦柔道	233	アメリカ(59)	スペイン(42)	カナダ(42)
⑧体操	218	ロシア(82)	韓国(30)	ドイツ(18)
⑨バスケットボール	208	チェコ(39)	アメリカ(23)	アルゼンチン(23)
			中国(23)	
⑩陸上	200	台湾(78)	韓国(47)	オーストラリア(31)

\*カッコ()の中の数字は派遣人数

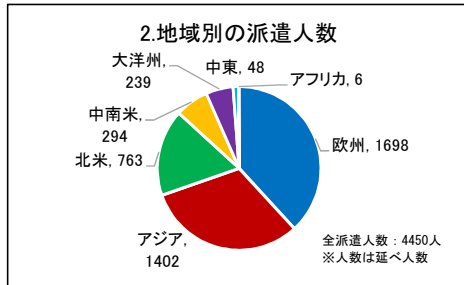
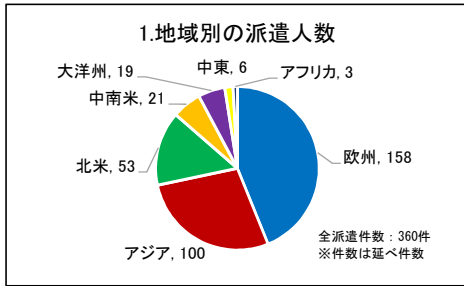


# 平成28年度国際交流状況等調査結果概要 -スポーツ国際交流及び国際会議等への派遣・受入状況-

スポーツ国際交流のために行った派遣（統括団体事業を含まない。）

2016年4月から2017年3月の間に、海外で行われた国際交流等へ派遣した日本の選手・スタッフ（競技団体役員・監督・コーチ・ドクター等）、審判及びクラシファイア（障がいによる不公平が生じないように、規則に従ってそれぞれの競技者を適切にグループ分けする資格を有する者）の人数を調査した。対象期間は2016年4月1日から2017年3月31日までとし、地域は外務省ホームページの区分に基づき色別に分類した。

- 交流とは、以下のものを指す。
- スポーツを通じた諸外国との交流
  - 海外強化合宿（遠征等）
  - 諸外国との国際親善・交流試合、強化試合、合同合宿等
  - 指導者・審判員等に対する技術講習、研修
  - 指導者の派遣 等

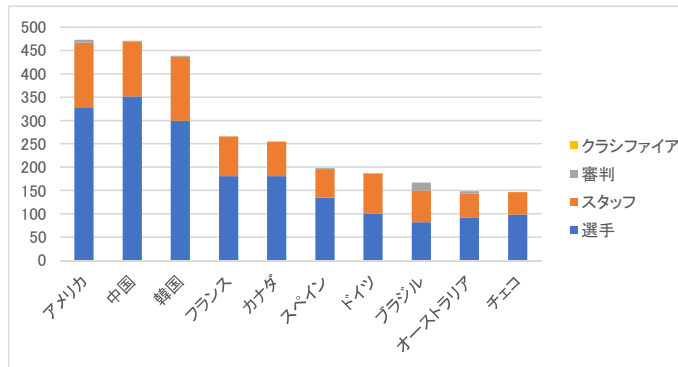


3.派遣人数が多い競技(上位10競技)別の国・地域(上位3ヶ国・地域)

派遣競技・事業	合計人数	1	2	3
①サッカー	890	アメリカ(112)	中国(97)	スペイン(87)
②レスリング	344	アメリカ(86)	韓国(79)	ロシア(28)
③水泳	336	アメリカ(101)	ブラジル(70)	スペイン(48)
④ラグビー	327	フィジー(52)	ジョージア(49)	カナダ(39)
⑤卓球	258	中国(258)		
⑥柔道	233	アメリカ(59)	スペイン(42)	カナダ(42)
⑦体操	218	ロシア(82)	韓国(30)	ドイツ(18)
⑧バスケットボール	208	チェコ(39)	アメリカ(23)	アルゼンチン(23)
⑨陸上	200	台湾(78)	韓国(47)	オーストラリア(31)
⑩カーリング	178	カナダ(92)	アメリカ(26)	スイス(22)
				スコットランド(22)

\*カッコ()の中の数字は派遣人数

4.派遣人数が多い上位10ヶ国・地域



国名	選手	スタッフ	審判	クラシファイア	合計人数	主な派遣競技
①アメリカ	327	140	6	0	473	サッカー(112)水泳(101)レスリング(86)
②中国	352	117	2	0	471	卓球(258)サッカー(97)バレー(30)
③韓国	300	137	2	0	439	レスリング(79)陸上(47)ハンドボール(40)
④フランス	181	85	0	0	266	サッカー(67)フェンシング(57)アイスホッケー(28)
⑤カナダ	181	74	0	0	255	カーリング(92)柔道(42)ラグビー(39)
⑥スペイン	135	61	2	0	198	サッカー(87)水泳(48)柔道(46)
⑦ドイツ	101	86	0	1	188	馬術(42)サッカー(35)スケート(26)
⑧ブラジル	82	68	17	0	167	水泳(70)レスリング(20)ブラインドサッカー(19)
⑨オーストラ	92	52	5	0	149	陸上(31)サッカー(29)フェンシング(18)
⑩チェコ	99	48	0	0	147	バスケットボール(39)パラアイスホッケー(38)アイスホッケー・サッカー(28)

\*カッコ()の中の数字は派遣人数

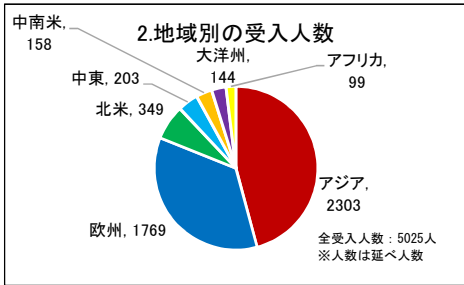
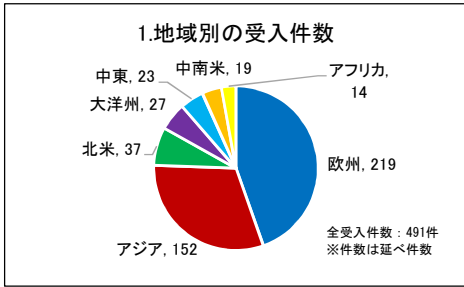
全派遣国数：72国・地域  
※人数は延べ人数

# 平成28年度国際交流状況等調査結果概要 -スポーツ国際交流及び国際会議等への派遣・受入状況-

スポーツ国際交流のために行った受入（統括団体事業を含む。）

2016年4月から2017年3月の間に、日本で行われた国際交流等へ受け入れた海外の選手・スタッフ（競技団体役員・監督・コーチ・ドクター等）、審判及びクラシファイア（障がいによる不公平が生じないように、規則に従ってそれぞれの競技者を適切にグループ分けする資格を有する者）の人数を調査した。対象期間は2016年4月1日から2017年3月31日までとし、地域は外務省のホームページ区分に基づき色別に分類した。

- 交流とは、以下のものを指す。
  - スポーツを通じた諸外国との交流
  - 海外強化合宿（遠征等）
  - 諸外国との国際親善・交流試合、強化試合、合同合宿等
  - 指導者・審判員等に対する技術講習、研修
  - 指導者の派遣 等

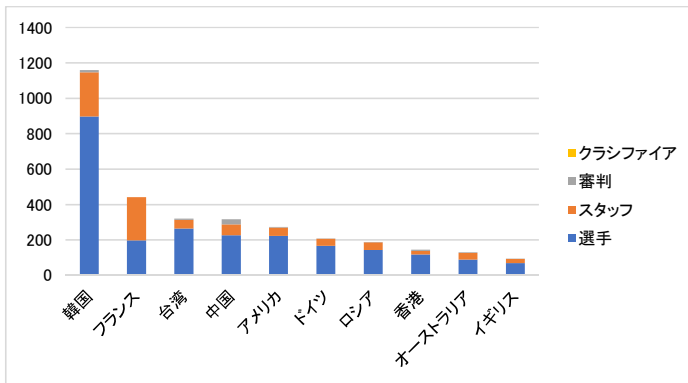


**3.受入人数が多い競技(上位10競技)別の国・地域(上位3ヶ国・地域)**

受入競技・事業	合計人数	1	2	3
①柔道	1942	フランス(379)	アメリカ(139)	ロシア(129)
②日本体育協会	989	韓国(734)	ドイツ(128)	中国(106)
③弓道	413	台湾(72)	中国(61)	ロシア(43)
④チアリーディング	393	台湾(148)	フィリピン(75)	インドネシア(66)
⑤体操	311	韓国(98)	中国(31)	スウェーデン(26)
⑥バスケットボール	179	アメリカ(60)	セネガル(45)	イラン(36)
⑦フェンシング	126	韓国(48)	香港(30)	フランス(24)
⑧ハンドボール	91	韓国(91)		
⑨レスリング	76	アメリカ(32)	韓国(26)	ブラジル(12)
⑩ラグビー	60	スコットランド(60)		

\* カッコ()の中の数字は受入人数

**4.受入人数が多い上位10ヶ国・地域**



国名	選手	スタッフ	審判	クラシファイア	合計人数	主な受入競技・事業
①韓国	898	249	13	0	1160	日本体育協会(734)体操(98)ハンドボール(91)
②フランス	197	246	0	0	443	柔道(379)弓道(34)フェンシング(24)
③台湾	265	49	8	0	322	チアリーディング(148)弓道(72)柔道(39)
④中国	228	61	29	0	318	日本体育協会(106)柔道(77)弓道(61)
⑤アメリカ	223	47	5	0	275	柔道(139)バスケットボール(60)弓道(33)
⑥ドイツ	166	39	1	0	206	日本体育協会(128)柔道(62)フェンシング(8)
⑦ロシア	143	43	1	0	187	柔道(129)弓道(43)車いすカーリング(9)
⑧香港	118	20	6	0	143	チアリーディング(52)フェンシング(30)弓道(26)
⑨オーストラリア	89	38	2	0	129	柔道(38)弓道(30)バスケットボール・水泳(21)
⑩イギリス	68	24	1	0	93	柔道(63)弓道(18)バレーボール(5)

\*カッコ()の中の数字は受入人数

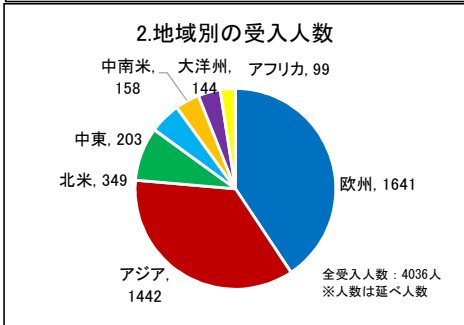
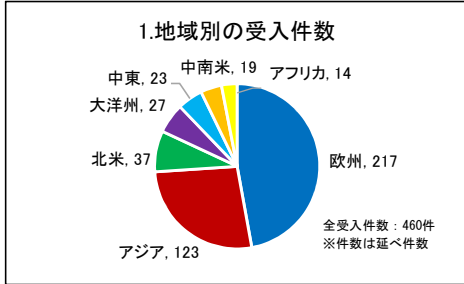
全受入国数：89国・地域  
※人数は延べ人数

# 平成28年度国際交流状況等調査結果概要 -スポーツ国際交流及び国際会議等への派遣・受入状況-

スポーツ国際交流のために行った受入（統括団体事業を含まない。）

2016年4月から2017年3月の間に、日本で行われた国際交流等へ受け入れた海外の選手・スタッフ（競技団体役員・監督・コーチ・ドクター等）、審判及びクラシファイア（障がいによる不公平が生じないように、規則に従ってそれぞれの競技者を適切にグループ分けする資格を有する者）の人数を調査した。対象期間は2016年4月1日から2017年3月31日までとし、地域は外務省のホームページ区分に基づき色別に分類した。

- 交流とは、以下のものを指す。
  - スポーツを通じた諸外国との交流
  - 海外強化合宿（遠征等）
  - 諸外国との国際親善・交流試合、強化試合、合同合宿等
  - 指導者・審判員等に対する技術講習、研修
  - 指導者の派遣 等



3. 受入人数が多い競技(上位10競技)別の国・地域(上位3ヶ国・地域)

受入競技・事業	合計人数	1	2	3
①柔道	1942	フランス(379)	アメリカ(139)	ロシア(129)
②弓道	413	台湾(72)	中国(61)	ロシア(43)
③チアリーディング	393	台湾(148)	フィリピン(75)	インドネシア(66)
④体操	311	韓国(98)	中国(31)	スウェーデン(26)
⑤バスケットボール	179	アメリカ(60)	セネガル(45)	イラン(36)
⑥フェンシング	123	韓国(48)	香港(30)	フランス(24)
⑦ハンドボール	91	韓国(48)	香港(30)	フランス(24)
⑧レスリング	76	アメリカ(32)	韓国(26)	ブラジル(12)
⑨ラグビー	60	スコットランド(60)		
⑩バドミントン	53	韓国(48)	フランス(5)	

\*カッコ()の中の数字は受入人数

4. 受入人数が多い上位10ヶ国・地域

国名	選手	スタッフ	審判	クラシファイア	合計	主な受入競技
①フランス	197	246	0	0	443	柔道(379)弓道(34)フェンシング(24)
②韓国	313	100	13	0	426	体操(98)ハンドボール(91)バドミントン・フェンシング(48)
③台湾	265	47	8	0	320	チアリーディング(148)弓道(72)柔道(39)
④アメリカ	223	47	5	0	275	柔道(139)バスケットボール(60)弓道(33)
⑤中国	149	34	29	0	212	柔道(77)弓道(61)体操(31)
⑥ロシア	143	43	1	0	187	柔道(129)弓道(43)車いすカーリング(9)
⑦香港	117	19	6	0	142	チアリーディング(52)フェンシング(30)弓道(26)
⑧オーストラリア	89	38	2	0	129	柔道(38)弓道(30)バスケットボール・水泳(21)
⑨イギリス	68	24	1	0	93	柔道(63)弓道(18)バレーボール(5)
⑩インドネシア	75	7	4	0	86	チアリーディング(66)柔道(10)セーリング(5)
⑪フィリピン	68	9	9	0	86	チアリーディング(75)体操(10)トライアスロン(1)

\*カッコ()の中の数字は受入人数

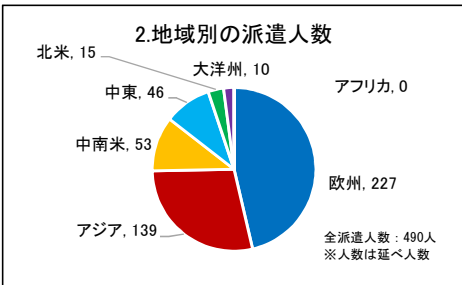
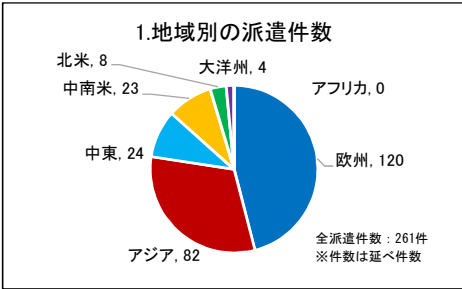
全受入国数: 88国・地域  
※人数は延べ人数

# 平成28年度国際交流状況等調査結果概要 -スポーツ国際交流及び国際会議等への派遣・受入状況-

## スポーツ国際会議等のために行った派遣（統括団体事業を含む。）

平成28年度に、海外で行われた国際会議等へ派遣した国内競技団体の役員等の数を調査したもの。対象期間は2016年4月1日から2017年3月31日までとし、地域は外務省ホームページの区分に基づき色別に分類した。

- 国際会議とは、以下のようなものを指す。
  - 国際競技連盟及びアジア競技連盟が開催する会議
  - 国際機関が開催する会議



### 3.派遣人数が多い競技（上位10競技）別の国・地域（上位3ヶ国・地域）

派遣競技・事業	合計人数	1	2	3
①サッカー	64	マレーシア(17)	メキシコ(15)	スイス(11)
②日本オリンピック委員会	44	ベトナム(12)	カタール(6)	インドネシア(5)
③スキー	29	メキシコ(15)	スイス(14)	
④体操	27	スイス(9)	タイ(5)	オーストリア(3) 韓国(3)
⑤陸上競技	27	モナコ(8)	カタール(5)	オーストリア(2) オランダ(2) ギリシャ(2) タイ(2) ブラジル(2)
⑥スケート	22	クロアチア(22)		
⑦バレーボール	22	スイス(10)	タイ(6)	アルゼンチン(4) アメリカ(2)
⑧チアリーディング	18	シンガポール(8)	スロベニア(4)	スペイン(2) 台湾(2)
⑨フェンシング	16	ロシア(7)	フランス(6)	ドイツ(2)
⑩水泳	15	ブラジル(6)	カナダ(5)	カタール(3)

\*カッコ()の中の数字は派遣人数

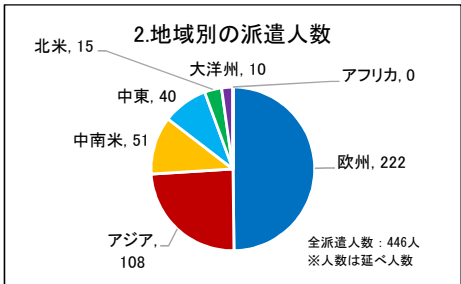
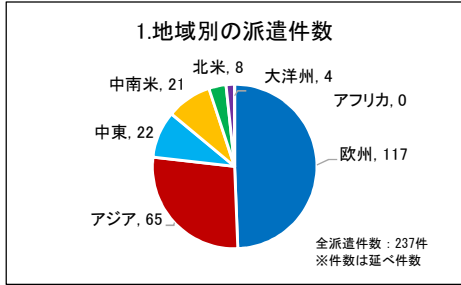


# 平成28年度国際交流状況等調査結果概要 -スポーツ国際交流及び国際会議等への派遣・受入状況-

スポーツ国際会議等のために行った派遣（統括団体事業を含まない。）

平成28年度に、海外で行われた国際会議等へ派遣した国内競技団体の役員等の数を調査したもの。対象期間は2016年4月1日から2017年3月31日までとし、地域は外務省ホームページの区分に基づき色別に分類した。

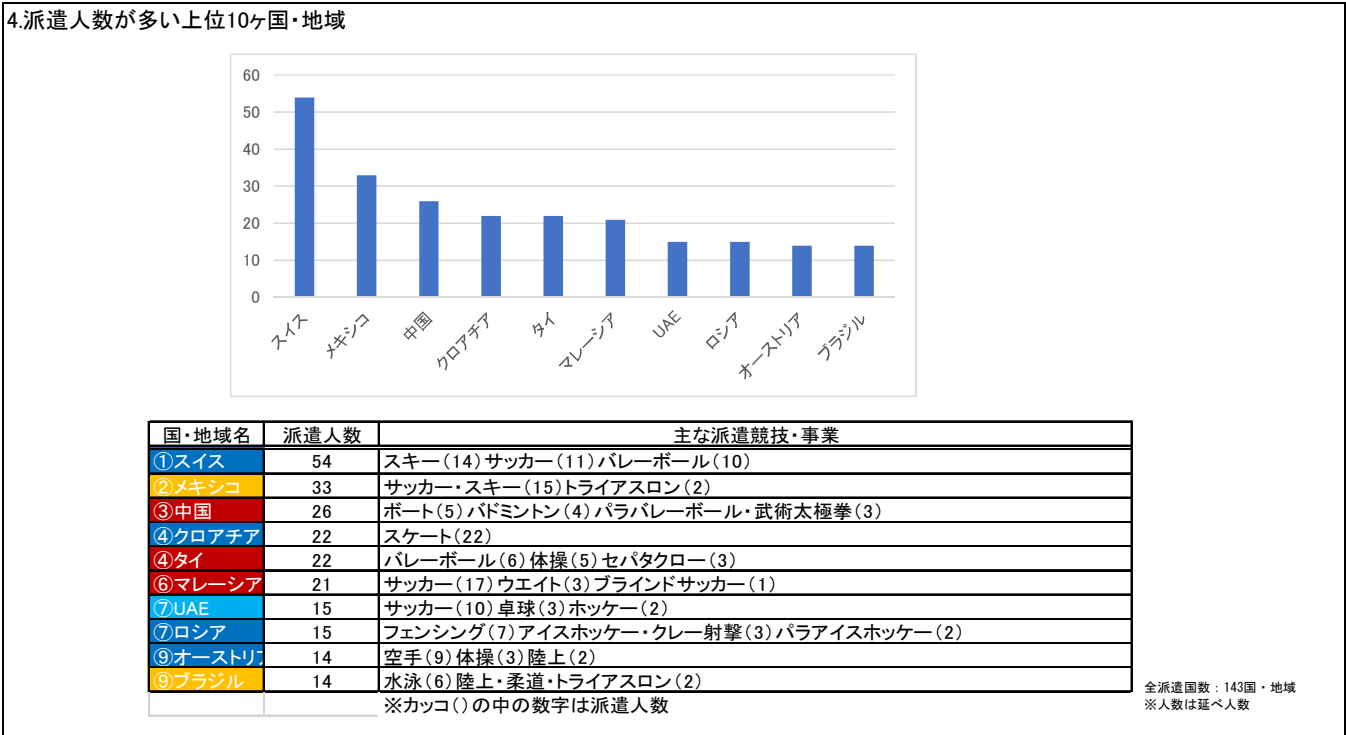
- 国際会議とは、以下のようなものを指す。
  - 国際競技連盟及びアジア競技連盟が開催する会議
  - 国際機関が開催する会議



**3.派遣人数が多い競技(上位10競技)別の国・地域(上位3ヶ国・地域)**

派遣競技・事業	合計人数	1	2	3
①サッカー	64	マレーシア(17)	メキシコ(15)	スイス(11)
②スキー	29	メキシコ(15)	スイス(14)	
③体操	27	スイス(9)	タイ(5)	オーストリア(3) 韓国(3)
④陸上競技	27	モナコ(8)	カタール(5)	オーストリア(2) オランダ(2) ギリシャ(2) タイ(2) ブラジル(2)
⑤スケート	22	クロアチア(22)		
⑥バレーボール	22	スイス(10)	タイ(6)	アルゼンチン(4)
⑦チアリーディング	18	シンガポール(8)	スロベニア(4)	アメリカ(2) スペイン(2)
⑧フェンシング	16	ロシア(7)	フランス(6)	台湾(2) ドイツ(2)
⑨水泳	15	ブラジル(6)	カナダ(5)	カタール(3)

\*カッコ()の中の数字は派遣人数

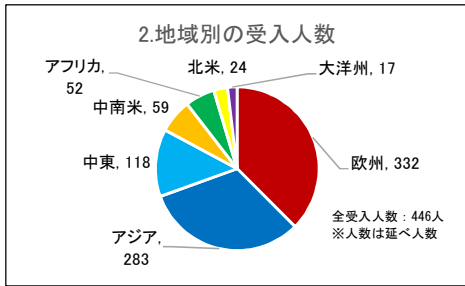
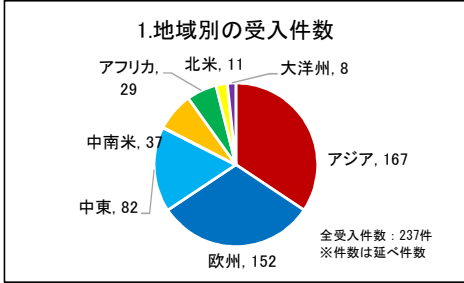


# 平成28年度国際交流状況等調査結果概要 -スポーツ国際交流及び国際会議等への派遣・受入状況-

## スポーツ国際会議等のために行った受入

平成28年度に、日本で行われた国際会議等へ受け入れた国外競技団体の役員等の数を調査した。対象期間は2016年4月1日から2017年3月31日までとし、地域は外務省ホームページの区分に基づき色別に分類した。

- 国際会議とは、以下のようなものを指す。
  - 国際競技連盟及びアジア競技連盟が開催する会議
  - 国際機関が開催する会議

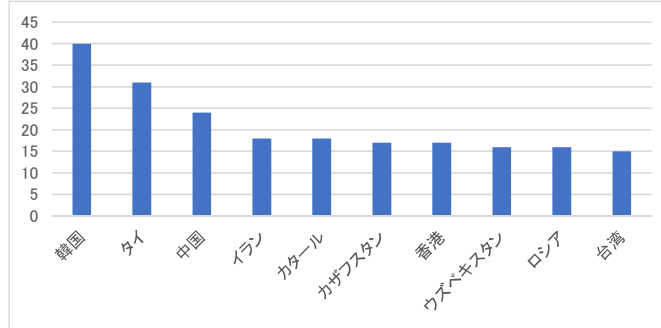


### 3.受入人数が多い競技(上位10競技)別の国・地域(上位3ヶ国・地域)

受入競技	合計人数	1	2	3
①体操	352	韓国(8) トルコ(8) ロシア(8)		
②ウエイトリフティング	164	タイ(13)	カザフスタン(9)	イラク(8) 韓国(8) カタール(8)
③馬術	125	アメリカ(4)	オマーン(3) カタール(3) スペイン(3) フランス(3) ボスニア・ヘルツェゴビナ(3) マレーシア(3)	
④ボート	103	イギリス(4)		
⑤トライアスロン	49	イラン(3) インド(3) カザフスタン(3) 韓国(3) 中国(3)		
⑥サッカー	33	韓国(4)	中国(3)	台湾(2) 香港(2)
⑦チアリーディング	19	タイ(3) フィリピン(3)	ドイツ(2) ロシア(2)	
⑧水泳	16	韓国(4)	マカオ(3)	シンガポール(2) タイ(2) ポーランド(2) インド(1) インドネシア(1) サウジアラビア(1) シンガポール(1) タイ(1) パキスタン(1)
⑨陸上	12	中国(4)	香港(2)	
⑩カヌー	8	イラン(2) ウズベキスタン(2)	インドネシア(1) シンガポール(1) タイ(1) 香港(1)	

\*カッコ()の中の数字は受入人数

### 4.派遣人数が多い上位10ヶ国・地域



国・地域名	派遣人数	主な受入競技・事業
①韓国	40	ウエイトリフティング・体操(8)ハンドボール(7)
②タイ	31	ウエイトリフティング(13)体操・チアリーディング(3)
③中国	24	ウエイトリフティング(6)体操・陸上(4)
④イラン	18	ウエイトリフティング(5)トライアスロン・ボート(3)
⑤カタール	18	ウエイトリフティング(8)体操(5)馬術(3)
⑥カザフスタン	17	ウエイトリフティング(9)体操(4)トライアスロン(3)
⑦香港	17	ウエイトリフティング・サッカー・トライアスロン・ボート・体操・馬術・陸上(2)
⑧ウズベキスタン	16	ウエイトリフティング(7)体操(5)カヌー(2)
⑨ロシア	16	体操(8)ボート(3)チアリーディング・馬術(2)
⑩台湾	15	ウエイトリフティング(4)体操(3)サッカー・トライアスロン・馬術(2)

全受入国数：51国・地域  
※人数は延べ人数  
※カッコ()内の数字は受入人数